

平成28年度高校生自転車交通マナー向上対策事業 実践指定校の取組

1 目的

県立高等学校の自転車通学生を主たる対象とし、愛媛県自転車の安全な利用の促進に関する条例の基本理念である「シェア・ザ・ロード」の考え方に沿った交通安全教育を強化し、交通ルールの遵守や自転車交通マナーの向上に取り組むことにより、自転車が関与する事故の防止を図る。

2 平成28年度実践指定校

- 愛媛県立新居浜工業高等学校
- 愛媛県立今治南高等学校
- 愛媛県立松山北高等学校
- 愛媛県立伊予高等学校
- 愛媛県立宇和高等学校
- 愛媛県立宇和島東高等学校



3 実施内容

- (1)交通安全教室の開催
- (2)登下校時の交通危険箇所の把握・分析
- (3)自転車新文化の促進
- (4)交通マナー向上啓発チラシ等の作成・配布
- (5)実践成果の普及

4 実践指定校の取組

(1) 交通安全教室の開催



自転車シミュレータを活用した交通安全教室



交通規則等に関する講習



交通事故被害者遺族による講話



自動車教習所と連携した交通安全教室



サイクルショップによる自転車安全点検講習

(2) 登下校時の交通危険箇所の把握・分析



警察と連携した通学危険箇所の点検



各校で危険箇所マップを作成



(3) 自転車新文化の促進



県自転車新文化推進室長による講話



サイクリストによる講演



スポーツサイクルでのサイクリング
(学校で設定したサイクリングコース、しまなみ海道等)



マナーの実践と自転車の楽しさを体験

(4) 交通マナー向上啓発チラシ等の作成・配布



啓発ポスター・チラシ
(生徒・保護者、近隣校へ配付、校内掲示)



ヘルメット着用啓発ステッカーを作成

interview



伊予高等学校
(写真左から)
川野 光正先生
近藤 七菜海さん
木下 雅之さん
黒木 吾緒先生

全校生徒の交通マナー向上のため交通委員会で活動する中で、自身の自転車の乗り方を見直すようになった委員長の木下さん。「通行量が多い道路では、左側の歩道を走り歩行者とぶつからないよう気を付けています」と話すと、副委員長の近藤さんも「ヘルメットをかぶりはじめたときは「面倒だな」と思っていたのですが、今ではかぶらないと落ち着かないです」ときっぱり。安全な乗り方が習慣化されています。

一方「最近では少ないですが、ヘルメットをかぶっていない他校の生徒にも注意しています」と話す黒木先生。安全な乗り方は一部の人が習慣化しても意味がありません。「自分の命を大切にするため高校生も大人も関係なく、ルールを守ることが大事」と川野先生は訴えていました。

ルールを守るのに高校生も大人も関係ない 伊予高等学校の取り組み

自転車交通マナー向上対策実践指定校の伊予高等学校。危険箇所マップの作成や定期的な登校指導など、交通委員会を中心に、交通マナーの向上に取り組んでいます。



1_ 登校中の様子。全員がヘルメットを着用 2_ 定期的に安全チェック 3_ 交通委員が作成した「松前町交通事故危険箇所マップ」。町内の小中学校や公民館などに配布

1 購入した 交通災害共済や自転車 向けの保険に加入する

町では、交通事故に遭ったときの交通災害共済の加入を受け付けます。

- 加入資格 平成29年4月1日に町内に居住し、住民基本台帳に登録されている人、加入者の被扶養者で町外に居住する人
- 掛金 大人 700円 中学生以下 300円
- 共済期間 29年4月1日～30年3月31日
※途中加入の場合は、加入日の翌日とする。
- 募集期間 29年2月1日～30年3月30日
- 申し込み方法 今月号の広報まさきと一緒に配布している申込書と掛金を受付場までお持ちください。
- 受付場所
・役場1階市民課コミュニティ係
・税金の出張申告に併せ、各地区の公民館や集会所

安全に自転車に乗るために
私たちができること

気軽に乗ることが出来る自転車も、私たちの命を預ける乗り物です。交通ルールを守るだけでなく、安全に乗るために、私たちができることを紹介します。



3 運転中に 異常を見つけたら 連絡する



■カーミラー
鏡面・支柱の割れやさびを見つけたときや、鏡面の向きを調整してほしいときは、カーミラーに貼ってあるシールの番号を交通安全指導員が市民課に連絡してください。



■道路、交通安全施設(ガードレール、視線誘導標など)
道路の陥没や交通安全施設の破損を見つけたときは、まちづくり課に連絡してください。

2 乗る前に 定期的な点検する

自転車をチェーンやギアなどの部品と同じ目線でじっくり観察すると、汚れ、さびやワイヤーのほつれなどさまざまなトラブルの原因に気がきます。こうした原因を放っておくと、部品の消耗を早めるだけでなく、場合によっては事故につながることもあります。



ポイント

- ブレーキは前後ともよく利くか
- ライトは明るくつくか
- タイヤに十分空気が入っているか
- チェーンが緩みすぎていないか
- サドルにまたがって両足が地面に着くか

◎ (カーミラー・交通災害共済) 市民課コミュニティ係 ☎ 985-4228 (道路・ガードレール) まちづくり課土木係 ☎ 985-4123

松前町で活躍

松前町で活躍&みんなを支える



チャレンジ! 地域の伊予高生

☆交通安全関連イベントで活躍した伊予校生たち(交通安全委員・文芸新聞、放送、IT、演劇部の皆さん)に取材...

各部の活動は、ヘルメット装着の啓発劇、えひめ団体の紹介など多くの活動にチャレンジ。行きかう買い物客に紹介グッズを配布して、とても好評だった。

☆おたさんに扮装していた三人組を宮町演劇部にインタビューすると...

「町の行事に参加する気分は、一入生初の体験ばかり。やりがいがあった。」「得意な分野と違って、一人ではできないけれど、みんなで出来た。仲間たちとの和を大切にすると楽しさと爽やかな笑顔が印象的だった。」

★今後も松前町の発展に若い力を貸してほしい (エミフル松前にて)

地域の広報誌等による取組紹介



- 生徒が主体的に活動することにより、交通安全への意識が高まり、交通社会の一員であるという自覚を持つようになった。
- 自転車シミュレーターの活用やサイクリングの実施など、体験的な取組により、マナー向上、危険予測・回避の実践力が養われた。
- 保護者や地域の人に学校の取組を知ってもらう良い機会となり、学校と地域の連携につながった。

- 交通安全意識への高まりを維持していくために、今後も継続的に取り組んでいくことが必要。
- 通学時以外でも自転車利用時にヘルメットを着用する習慣や自転車交通マナーの定着を図っていくための取組が必要。
- 学校だけの取組では限界があるため、家庭や地域、関係機関との更なる連携強化が必要。